

令和3年度第2回 あま市地域公共交通会議議事録要旨

令和3年11月29日（月）

午前10時00分から午前11時43分まで

美和総合福祉センターすみれの里

2階 集会室

1 出席者等

出席者等（委員） 15名
（事務局） 7名
（傍聴者） 3名

2 議題

- (1) 利用状況
- (2) あま市巡回バス運行の見直しについて

【主な質疑等】

- (1) 利用状況

（座長） コロナ禍で利用者数がだいぶ落ち込んでいたが、少しずつ回復の兆しが見えてきた。

（委員） 午前と午後で利用者数が減っている傾向が見て取れる。
目的や乗降場所の現状について、どのように考えているか。

（事務局） あくまで推測になるが、どのルートも公共施設と公共交通機関での乗降が多い。
買物利用もあると考えているが、特に公共施設や名古屋へ向かうための公共交通機関の利用が多い。

- (2) あま市巡回バス運行の見直しについて

（委員） 名鉄バス岩塚線と競合ルートができることに対して非常に不安を覚える。

JR蟹江駅への乗り入れも同様に、名古屋へ出られる方を考えると、岩塚線の利用者をJRに奪われる可能性があり不安が残る。

（事務局） 「28番」、「29番」のバス停については、名鉄バス岩塚線と競合となることから、事務局としては新規ルートから外し、外した距離分、美和総合福祉センターすみれの里へ行きたいという思いがある。

JR蟹江駅については、南部巡回ルートの路線から行きたいという要

望が多い。競合となる懸念があれば名鉄バスや関係機関と調整していきたいと考えている。

(座 長) どれぐらい転換が進むかをしっかり見極めた上で、乗り入れの検討をしたほうが良いと思う。

南部巡回ルートは、市の南北の移動をつかさどる大きな軸になり得ると思う。公共交通全体として利便性が上がることが大事だと思っており、短期的に見ると一部既存の公共交通が減る可能性はあるが、結果としてネットワークが形成されて公共交通の利便性が上がれば、中長期的には公共交通利用全体の底上げにつながる可能性がある。

公共交通全体の利便性向上を目指さない限り、どんどん需要が減り、尻すぼみの状態になっていく。負のスパイラルをどこかで変えていかないといけない。

減るかもしれない、あるいは増えるかもしれないということであるため、しっかり詰めていく必要がある。

さらに、最近では自治体が運行しているコミュニティバスと、既存の公共交通機関との乗り継ぎの割引を実現しようという動きもある。急にはできないが、そういうことによって、競合ではなく協調するような形になっていくことが望ましい姿だろうと思っている。今一度協議し、両方にとってメリットが出るような形での検討をいただきたい。

利用者にとって、両方使えるということは非常にいいこと。不便であると全然利用されなくなってしまう。局所的な見方も大事だが、もう少しグローバルな視点で検討し、しっかり話し合っていたきたい。

(委 員) 現状、各ルート1日3便走行しており、便数を増やすということだが、運転時分や労働基準法の連続乗務が非常に厳しくなっている。運転時分も遅れるダイヤというのはなかなか止め難いような状況。また、乗務員の休憩時間も法律に縛られているため、車両が3両で限定されている状態で、運転時間を現在と同じ程度で、便数を増やすのは不透明であり、労働基準法などの法律に関わってくるのでは。

(事務局) 現在の運行便数より増やすという点について、北部巡回ルートは約70分程度の運行時間、南部巡回ルートはアズパークのルートを減らすことにより約68分程度の運行時間になる。休憩等の時間を考慮して事務局なりに計算させていただき、名鉄バスと調整はさせていただいている。引き続き調整を行っていく。

東部巡回ルートが約80分の運行時間で大幅に伸びている。休憩時間等、法律的な面も含め、休憩時間等の確保はできるが、委託料は増額となる可能性があるためと名鉄バスから回答をいただいているため、調整していく。

(座 長) 南部は左回り、右回りで巡回しているが、ピストンのような利用もできるかと思う。しかし東部と北部に関してはどうしても巡回の形にならざるを得ないと思う。左右で動いているため、生活リズムに合えば利用していただけたらと思うが、近いバス停間だと大回りするところがあり、そこは敬遠されてしまう。

公平性の観点でぐるっと回ると利便性が損なわれる。あまり出っ張ったところはなくしたほうがいいが、出っ張ったところを巡回し、乗ってきてもらえるのであればいいと思う。

(委 員) 名鉄バスの時刻に合わせて接続できるようにするなどという調整もあると思う。

月曜日の運行に関しては、病院は月曜日と金曜日の利用が多いという傾向があると思う。病院に立ち寄る路線もあるが、市民の意見はどうなのかが気になる。

(座 長) 月曜日は週明けに病院へ行きたいという方も多いと思う。一方で南部巡回ルートは公共施設の利用が多いため、そこで判断すると月曜の運行ではない。かといって、コースによって曜日を変えるのも乗り継ぎができなくなってしまうため不便になる。総合的に考えて、どのような利用が多いのか、あるいは市としてどう利用してもらいたいのかということから決めていただくといいと思う。

他の自治体の例としては、コミュニティバスが走っている時間帯は、市内の民間バスの運賃をコミュニティバスと一緒にし、その差額は行政が持つということをしている。新たに公共バスとして走らせるより、運賃の差額を払ったほうが効率的だということから、そういったことを実現している。しかし、運賃は運行事業者のほうで管理してもらう必要があるため、利用者数の集計等が大きな問題だと思う。そういうことができるようになれば、一つの方策として既存の公共交通の有効活用で、共に使い勝手が良くなるということも考えられる。

本数の合間を縫って運行してもらおうというようなこともあるかもしれない。利用者からすると本数が増えるため、どちらも使え、利便性が高まることもあり得る気がする。さまざまな方策を考えてもらおうといいと思う。

(委 員) 例えば乗り換えのときに時間的に許されるのであれば、バスの中で待っていたら寒空の中で待たなくても接続ができるとか、そういった工夫もあると思う。そういった何かうまい方法がもしあるのであれば、そういったことも検討していただけたらありがたいと思う。

また、バスロケーションシステムも非常に有効になってきているため、そういった工夫もあると思う。

- (座 長) どこかターミナルのような位置付けになっているところはあるのか。
- (事務局) 現在考えている路線では、七宝焼アートヴィレッジが帰着点としているため、ターミナル的なものでいうと七宝焼アートヴィレッジになると考えている。
- (座 長) 一部同時刻に出発しているが、全部が同時刻ではない。1周の巡回時間が違うので難しいかもしれないが、全部同時刻に出発すると乗り継ぎが容易にできるようになる。さらに、七宝焼アートヴィレッジであれば休憩時間も公共施設の中で休憩できる。南は南側だけで移動し、北や東へ行くときについては乗り継いでもらうというような考え方は確かにあると思う。
- 一周の時間を短くして、その代わりに本数が増えるというのは、一つの考え方としてあると思う。
- (委 員) 名鉄バス岩塚線の利用状況について、感覚的に新家から乗って名古屋のほうへ行く方は多いが、名鉄バスの利用者が巡回バスに乗ることはないのではないかと考えているがどうか。
- (委 員) 利用状況について調べられていない。
- コミュニティバスは、もともと交通空白地帯を埋めるというのが目的だと思う。民業圧迫をしないことも前提としてあると思う。民間企業はある程度儲けなければならず、公的機関とは異なる。利用者が減れば、それに応じた需給の調整をしなければならず、巡回バスの影響が懸念されるため、コミュニティバスのもともとの目的から少し外れるのではないかと申し上げた。
- (委 員) 住民票などの市民サービスは、新庁舎ができた場合、旧公民館に移動する形になるのか。コンビニで取ることができるようになるのか。
- (会 長) 現在検討している。
- (委 員) 甚目寺公民館のバス停がないのはなぜかと思ったので、もし甚目寺公民館に窓口を置くのであれば不満が出るのではと思った。
- (委 員) 新ルートが駅や商業施設に新しくつながるということは、いいことで、利用者が増えていくのではと思っている。
- しかし、乗降人数を見ると、あまり使う人はいないのではと思ってしまう。バスを走らせることが本当にベストなのか、他の方策も考える時間が必要ではないかと思う。
- (座 長) あま市に限らずラストマイルでバス停までの移動、バス停まで歩くことが大変という方が増えており、いろいろな移動手段や交通手段が考えられている。自治体によってはタクシーの活用も進んでおり、バスを走らせても乗れない、利用が少ない、それであればタクシーを使ったほうが税金の効率的な利用につながるといったようなところも

ある。また、並行して住民の助け合いで動いているようなところもある。

簡単ではないと思っているが、いろいろな方策も考える必要がある。

(委員) 午前、午後の利用者の違いというのも運行本数とかそういったことが関係しているのでは。

バスマップを見ると鉄道駅は載っているが、名鉄バスの路線バスを市の交通の中でどういうふうに位置付けているのかがはっきりしていない。民業でやっている鉄道とバス路線は基幹路線として大事にしていったほうがいいのではと個人的に思う。

交通空白を埋めるという意味で公共交通、病院や買い物をつなぐといった基本的な考え方として、どういうものを持っていくか、今一度振り返っていただけるとありがたいと思う。

バスの利用に当たっては、市の公共施設の利用というキーワードが出てくるが、公民館などで行われている行事やバス路線の時刻にどういうふうにマッチしているのか、そこに利用促進を絡めていくとか、交通担当者だけがバス利用のことを考えるのではなく、市の総力戦で考えるべき。

ラストマイルやファーストステップで、家に戻ってくるだけでなく、家から出るという初めの一步のためのバスなど、コンセプトを少し振り返っていただけるといいかなと感じた。

(座長) 他の自治体だと公共交通計画を策定し、既存の路線バス、鉄道やタクシーも含めた中で、巡回バスの位置付けや目指す姿を明らかにした上で路線を考えていく。基本的な方針、基本的な考え方やコンセプトが明らかではないのではとの指摘であった。

重要なご指摘であるが、将来的にそういった計画を策定した中で、利用者の意見も踏まえて設定し、その方針に沿って路線を考えていくといいと思う。

(委員) 社会福祉課と高齢福祉課が甚目寺庁舎なので、あまり不便を感じるような意見は聞いていないが、新庁舎になった場合、どのようにして新庁舎へ行ったらよいのかと考えると、直行便の申し出があったら高齢者や障がい者のことを考えていただけるとありがたい。全員がバス停から近いかどうか不明で、行く方法がなくなるため、支所のほうでそういった書類などを受け取ってもらえるように作っていただければと思う。バス以外でも何か行ける方法を考えていただけたらうれしい。

(委員) 完全な答えかどうかは分からないが、出かけるときにはバス、帰りはタクシーのように、公共施設なら「タクシーのご利用はこちら」な

どの張り紙があると思う。何か行事があって集まったとすれば、知り合いの方数人で帰っていただくこともできるかもしれないため、いろいろな方法がある。

コンセプトの中に、今言われたようなことをあわせて考えていただけるといいと感じる。

(座 長) そういうのも一つあり、また一方で行政としていろいろな仕組みを導入していくというものもある。買い物についても宅配を利用することで、レストランで食べるような食事が家に来るため、そういう新しい仕組み、行政だけでなく民間のほうで新しい仕組みを入れてもらうというのもあり得る。

この案に関しては、特にこうしたほうがいいというのはないということではよいか。バス以外の手法で新しい仕組みを考えるとというのも、中長期的にはあり得ると思っている。その他、それぞれ機関の代表の方でお気づきの点があれば伺いたいと思う。

(特に無し)

(座 長) また、JR 蟹江駅に入るか分からないが、隣接する自治体や民間施設へ乗り入れる場合は事前の調整をしていただく必要がある。

名鉄バスとの調整は必要だと思う。事務局と名鉄バスで互いに良い形になるといいと思っている。また、データを持ち、根拠を持ってお話しいただくと納得しやすいと思うため、そういったところを詰め、良い案をご提案いただければと思う。

大きな異論はないと思っているため、この形で進めていただくとともに、増便に対して懸念があったため、走行時間など削れるところは削り、名鉄バスと調整していただく必要はある。

(事務局) 運行曜日について悩んでおり、利用者目線では火曜日、水曜日、金曜日がいいという要望が多い。

しかし、開業医に行きたいだとか、アンケート結果を見ると月曜、水曜日、金曜日の要望が多いため、どちらの意見を重要視して進めればいいのか、ご意見を賜りたい。

(座 長) 月曜日は 63 票、水曜日が 66 票のため、水曜日が多いとは言い切れない。たまたま 3 票多かっただけのため、ほぼ一緒と考えてよい。その中で月曜日は病院に行かれる方が多いと思うので、そこを重視するのか、水曜日に公共施設に来ていただくことを重視するのかだと思う。

大事なものは利用している方々で、乗っていない人の意見を聞いてもその人たちはなかなか乗ってくれない。それよりも乗っている人がより便利に乗ってもらう、そしてその人たちがファンになって口コミで増えていくというのは大事。そういう意味では乗っている人を重視す

るということで、水曜日が一つの案となる。しかし、月曜日と水曜日は有意差がないため、多いから水曜日とは言い切れない。

リズムとして分かりやすさでいえば月曜日、水曜日、金曜日という気はする。また、月曜日は週の初めなので何か動きたいなという気持ちもあると思う。

(委員) 月曜日、水曜日、金曜日のほうが覚えやすいと思う。

会議は最初から出ているが、運行曜日がよく分からない。

(座長) 月曜日、水曜日、金曜日は分かりやすい。分かりやすさは大事。

(事務局) 覚えやすさでいうと月曜日、水曜日、金曜日ということで、こちらも加味して考えていき、次回の会議にてお話しさせていただく。